

科目名	電子制御工学ゼミナール	英語科目名	Electronic Control Engineering Seminar
開講年度・学期	平成 27 年度・通年	対象学科・専攻・学年	複合工学専攻電子制御工学コース 1 年
授業形態	演習	必修 or 選択	必修
単位数	2 単位	単位種類	学修単位 (30+15) h
担当教員	電子制御工学コース全教員	居室 (もしくは所属)	電々棟 3, 4 階, テクノ棟 5 階
電話		E-mail	
授業の到達目標	授業到達目標との対応		
	小山高専の教育方針	学習・教育目標 (JABEE)	JABEE 基準要件
問題意識をもってことに当たり, 自らその解決方策を調査・検討できる。調査内容に基づいた討論・主張等を展開し, 要点を整理することができる。調査結果をまとめ, かつ, 他に伝達することができる。	②	(A), (E)○	(d-4) f
各到達目標に対する達成度の具体的な評価方法			
上記事項をテーマに関する教材の輪講等における理解度, 発表方法・要領, 内容の理論的・技術的背景に関する調査力等の視点から評価する。			
評価方法			
具体的な評価方法は各指導教員による。			
授業内容	授業内容に対する自学自習項目		自学自習時間
電気・電子・情報技術分野の主要な論文や著書, 研究成果等を教材として, その論題の技術背景・歴史的背景および解決方法等について教授しかつ論議する。 具体的な内容は, 研究室ごとに異なる	各指導教員の指示による。		15 時間
自学自習時間合計			15 時間
キーワード	輪講, 論文 等		
教科書	各指導教員により異なる。		
参考書	各指導教員により異なる。		
カリキュラム中の位置づけ			
前年度までの関連科目	輪講I, 輪講II, 卒業研究 その他全科目		
現学年の関連科目	特別研究		
次年度以降の関連科目	特別研究		
連絡事項			
配属された研究室の指導教官の指導の下で, 調査・討論・プレゼンテーション等を行う。ゼミナールの内容は特別研究を遂行する上で基礎となるものであるから, 各分野における理論的・技術的背景を理解すると共に, 研究へのアプローチを学ぶこと。外国の文献に親しみ国際感覚を身につけることも大切である。			
シラバス作成年月日	平成 27 年 3 月 10 日		